

2014年5月2日

安曇野市議会議長 宮下 明博 様

安曇野市議会議員

小林 純子

増田望三郎

松枯れ対策の政策提言に関する申し入れ

去る4月21日に開催された松枯れ対策についての議会全員協議会（政策討論会議に相当する意見交換）において、議長は会議のまとめとして「空中散布実施可能な場所を調査し、健康被害への考慮もしながら、県の基準に沿った方向で実施できる場所では空中散布をするよう市に提言する」と発言されました。

しかし、これまで松枯れ対策を議題に開催された全協では、市と県の担当者から松枯れのメカニズムと被害対策について話を聞き、その後、松枯れ被害の現場を視察したとはいえ、都合5時間ほどの意見交換をしたに過ぎず、「農薬の空中散布で松枯れは根絶できるのか」という疑問や、「農薬を空から無差別に撒くことの危険性」への懸念について、十分な知見を得て判断できるまでの意見交換、討論が行われたとは言えません。感情論や根拠に乏しい持論の展開に終始し、政策提言につながるような結論には至っていません。

それにもかかわらず、現時点で農薬の空中散布推進を市に提言することは、早計に過ぎます。松枯れ対策に関する政策提言を行うのであれば、よりいっそう調査・研究を深め議論を重ねたうえでされるよう、強く申し入れます。